

<2019年10月27日(日) 級位審査 洗心館 AM8:45集合>

【各人員配置】

審査員 主任審査員：田中 豊司先生

審査員：藤澤先生(剣心)、藤原先生(さつき)、村井先生(純正館)、菊川先生(高野台)

本部、事務局及び受付(会計補助兼務)：玄武館(2名)

全般責任：本部机に常時配置。

〔業務〕受付及び出欠報告連絡窓口。合格者掲示

司会・進行：(特に必要なし、必要な場合は立ち合い者で行う)

駐車場対策：さつき(3名)

〔業務〕洗心館玄関前での駐車する車に対する声掛け、隣地駐車場での駐車券配布
洗心館B2への駐車券を配布する

会計：石坂様(ひかり)

現金徴収：大剣連級位登録料徴収。会計報告。

〔業務〕終了後登録料を団体単位で受け付ける。1~3級有料、4~8級無料

立会い：高野台、純正館(各1名 合計2名)

審査進行の指示。形審査の指示。

〔業務〕実技審査は級位審査実施要領に伴った指示を行なう。

指示：「前、前」・・・「1歩前進1歩交代正面打ち 10本 始め」・・・等

基本技は「元立ち」「掛り手」の指示と「審査基本技」指示を行なう。

基本技はその場の交代で裏表を行なう。

級位毎に選択された基本技2本の開始指示を行なう。

指示：「正面に礼 元立ち、掛り手 始め」→始めの礼式

(例)「基本3払い技 始め」「基本9打ち落とし技 始め」

→終わりの礼式を行い互いの礼で待機「正面に礼」

受審者点呼、整列、番号記載、誘導、アナウンス：山田(2名)、中体連(2名)

〔業務〕審査進行のロスが発生しないように受審者の確保、送り込み、交代等がスムーズに進むように配慮する。

番号記載は両サイドの垂に番号を書く。

形審査は開始線を設けないので、一人ひとりの立ち位置を誘導する。

〔業務〕進行、連絡、指示、誘導等

【準備備品】

査定表15部 チョーク 筆記用具 発表用用紙(級位別)マジック(黒、赤) 実施要領5部
級位別合格者確認書10部 釣銭 ビニールテープ セロハンテープ (確認：マイク 机 椅子)

【発表形式について】

級位別に番号を記載した用紙を準備する。(A4で充分)

合格者をチェックして掲示板に張り出す。

パターン1：全員合格と表示し、飛び級合格者は赤丸(その旨記載)

パターン2：合格者を赤丸 不合格はノーチェック 認定で受審級位不合格の場合は合格級位を記載

以上